

出資型新事業創出支援プログラム (SUCCESS) における 株式会社 Xenoma への出資実行について

JST (理事長 濱口 道成) は、出資型新事業創出支援プログラム (SUCCESS) において、株式会社 Xenoma (本社：東京都、代表取締役 網盛 一郎、以下「Xenoma 社」という) からの第三者割当増資^{注1)} の引き受けを実施致しました。

Xenoma 社は、JST の ERATO「染谷生体調和エレクトロニクスプロジェクト」(研究総括：染谷 隆夫 (東京大学大学院工学系研究科 教授)、研究期間：平成 23 年 10 月～平成 29 年 3 月) における研究開発成果をもとに、平成 27 年 11 月に代表取締役 網盛 一郎らが設立したベンチャー企業です。

近年、リストバンド型を中心に普及が進むウェアラブルデバイスは、スポーツ、ヘルスケア、医療等幅広い分野での活用が期待されております。しかし、従来のリストバンド型、腕時計型のデバイスには、装着感が強く長時間の測定に向かない、測定位置が限定されることから取得できるデータに制限がある、という課題があります。

Xenoma 社は ERATO で開発された「伸びるエレクトロニクス」を実用化し、上記のウェアラブルデバイスの課題を解決する「いつでも、どこでも」「全身の情報が計測できる」「着心地のいい」衣服型デバイスを開発し、「衣服のエレクトロニクス化」を実現する企業です。

今後は、企業との共同開発や提携等を通じて、スポーツ、ヘルスケア、医療等の用途に向け、着用者の負担が少ない、ウェアラブル型デバイスを製造、販売していきます。

SUCCESS では今後も、JST の研究開発成果を実用化しようとするイノベーティブなベンチャー企業に対して、成長資金の供給や関係機関のネットワークを活用したサポートを提供することにより、実用化を通じた先端技術の社会への還元を進めていきます。(ホームページ URL : <http://www.jst.go.jp/entre/>)

〈SUCCESS 事業概要〉

平成 26 年 4 月より、JST では「出資型新事業創出支援プログラム」(略称：SUCCESS Support Program of Capital Contribution to Early-Stage Companies) を開始しました。本事業は、JST の研究開発成果の実用化を目指すベンチャー企業に対し JST が出資並びに人的及び技術的援助を行うことでその創出及び成長を促進し、当該ベンチャー企業が行う事業活動を通じて JST の研究開発成果の実用化・社会還元を促進することを目的とした事業です。出資を通じて JST がベンチャー企業の株主になることで、民間の資金を誘引する「呼び水効果」を狙っています。

ホームページ URL : <http://www.jst.go.jp/entre/>

<企業概要>

企業名	株式会社 Xenoma
設立日	平成 27 年 11 月 2 日
本社所在地	東京都文京区
代表取締役	網盛 一郎
事業内容	ウェアブル型デバイスの研究開発・製造・販売
Web ページ	https://xenoma.com/

<製品イメージ>



・ターゲット市場の例



<用語解説>

注 1) 第三者割当増資

特定の第三者に新株引受権(新株の割当を受ける権利)を与えて行う増資のこと。会社の資金調達の方法の一つで、会社の自己資本を充実させ、財務内容を強化することができる。

<お問い合わせ先>

株式会社 Xenoma
〒143-0013
東京都大田区大森南 4-6-15 テクノフロント森ヶ崎 303
Tel : 03-5735-4622 Fax : 03-3741-7750
担当 : 富取

<SUCCESS 事業に関すること>

科学技術振興機構 起業支援室
〒102-0076 東京都千代田区五番町 7 K's 五番町
Tel : 03-6380-9014 Fax : 03-5214-0017
E-mail : entre@jst.go.jp